

エネルギー教育モデル校 企画

講演会「日本のエネルギー環境問題」

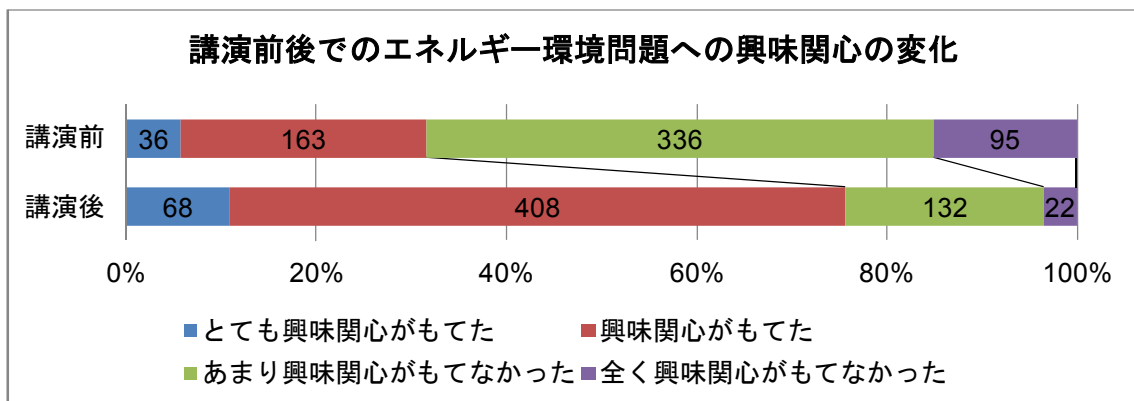
12月18日(月)に、1・2年生対象で「日本のエネルギー環境問題」というテーマで、エコット政策研究センターの中岡章先生をお迎えして講演会を行いました。

講演では、化石燃料の燃焼における二酸化炭素の放出が地球温暖化を招いていること、経済の発展と二酸化炭素の排出量には関係があること、エネルギーといえば電気やガソリンなどが思いつくが、衣服や電気製品等をつくる際にもエネルギーを消費し、二酸化炭素を放出していることを考える必要があるなどのお話がありました。

生徒のアンケートの結果を分析すると、講演前と講演後では、エネルギー環境の興味関心度が大きくなっており、大変有意義な講演会になったようです。

また生徒のコメントとして、「化石燃料の利用を減らしたいとは思っていなかったが、こんなに危機的状況とは思わなかった」「いろいろなグラフを見て、今まで環境問題について何となくしか考えていないことに実感がわきました。」「家庭での消費エネルギー量を自分でも減らせるんじゃないかなと考えるようになりました」等の意見がありました。

アンケート結果(1,2年生徒 630名のアンケート結果)



講演会の様子